

消費増税の駆け込み需要に関するアンケート調査

調査期間: 2014/1/9~1/11
調査方法: インターネット(携帯電話Web機能)による調査
調査対象: 新潟県内在住の15~78歳の男女(3710名)

● 調査結果概要 ●

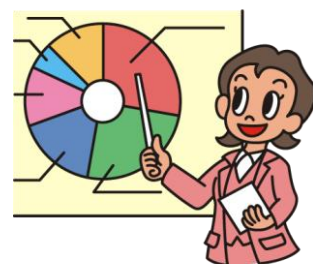
消費増税前の駆け込み需要での経済効果に期待感

- ・新潟県民の**6割弱**が増税前の購入・買い替えを検討。
- ・購入・買い替えを検討している商品は、

1位…「生活消耗品」

2位…「家電製品」

3位…「飲食料品」



スピードリサーチ社が運営・管理する100off.comの新潟県内在住会員を対象に行った調査によると、県民の6割弱(56.3%)が、4月からの増税を見込んで商品の購入・買い替えを「検討している」と回答した。購入・買い替えを検討している商品では、「(トイレtpーパーや洗剤等の)生活消耗品(22.1%)」と答えた割合が最も高く、約5人に1人の割合。次いで「家電製品(19.1%)」、「(保存食品・冷凍食品、お茶やジュース等の)飲食料品(17.2%)」、「自動車、バイク(13.5%)」、「(お酒、タバコ等の)嗜好品(12.2%)」の順に続く。

「(トイレtpーパーや洗剤等の)生活消耗品」、「(保存食品・冷凍食品、お茶やジュース等の)飲食料品」の割合が高い理由として、特に使用期限が設けられていなかったり、未開封ならある程度長期の保管が可能であることが、消費増税前の購入・買い替えの検討に繋がっていると考えられる。また、男性と比べ、女性で「検討している」と回答した割合が倍以上になっていることから、家計を任されることの多い女性の『増税による負担を抑えようとする努力』がうかがえる。「衣類」、「家具、インテリア」、「装飾品」も同じく使用期限はないが、必要性や流行、好みの変化によって左右されるため、それほど駆け込み需要に影響しないと見られる。

「家電製品」では、購入・買い替えを検討している商品として約半数が「パソコン(47.2%)」と回答しており、次いで多い「冷蔵庫(23.7%)」の倍となっている。これは、Windows XPのサポート終了(2014年4月9日まで)が迫ってきたことが要因として考えられる。

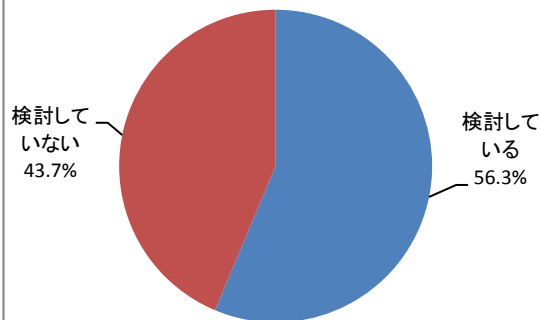
「自動車、バイク」は他の商品と比べ価格が高いため、普段は購入・買い替えの頻度が低いと思われるが、消費増税をきっかけとして割合が高くなっており、駆け込み需要による経済効果に期待が持てる。「土地や住宅」に関しても、割合は低いものの、より高価格帯であることから、経済効果は少なくないと言える。

年末商戦が終わったばかりだが、3月までは消費増税による駆け込み需要が望め、新潟県内の景気は上向きになると考えられる。

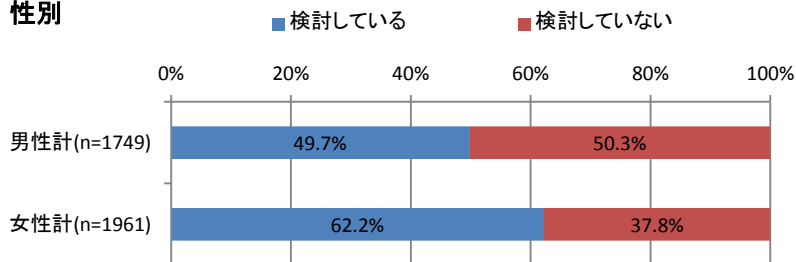
● 本件 お問い合わせ先 ●

Q1. 今年(2014年)4月からの消費増税を見込んで、3月までに何か購入や買い替えを検討していますか？

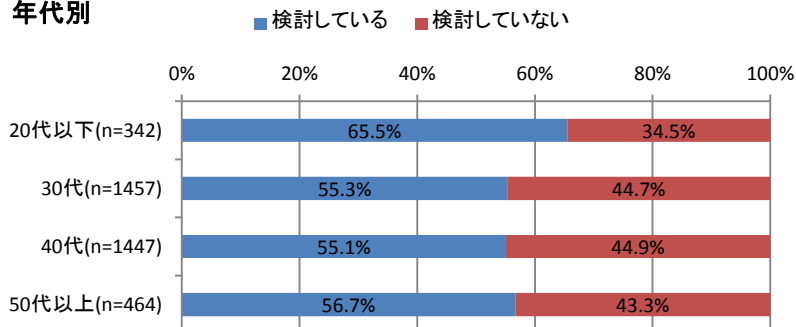
全体(n=3710)



性別

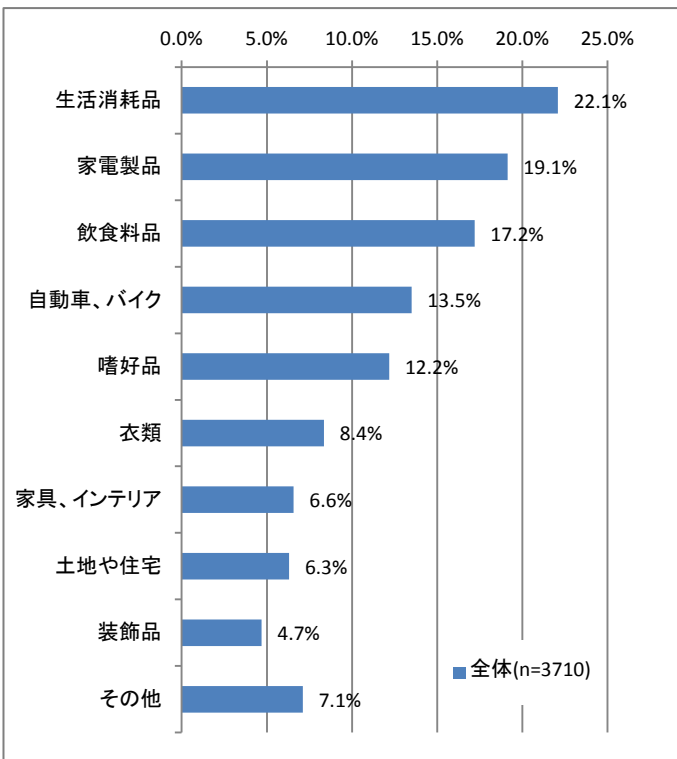


年代別

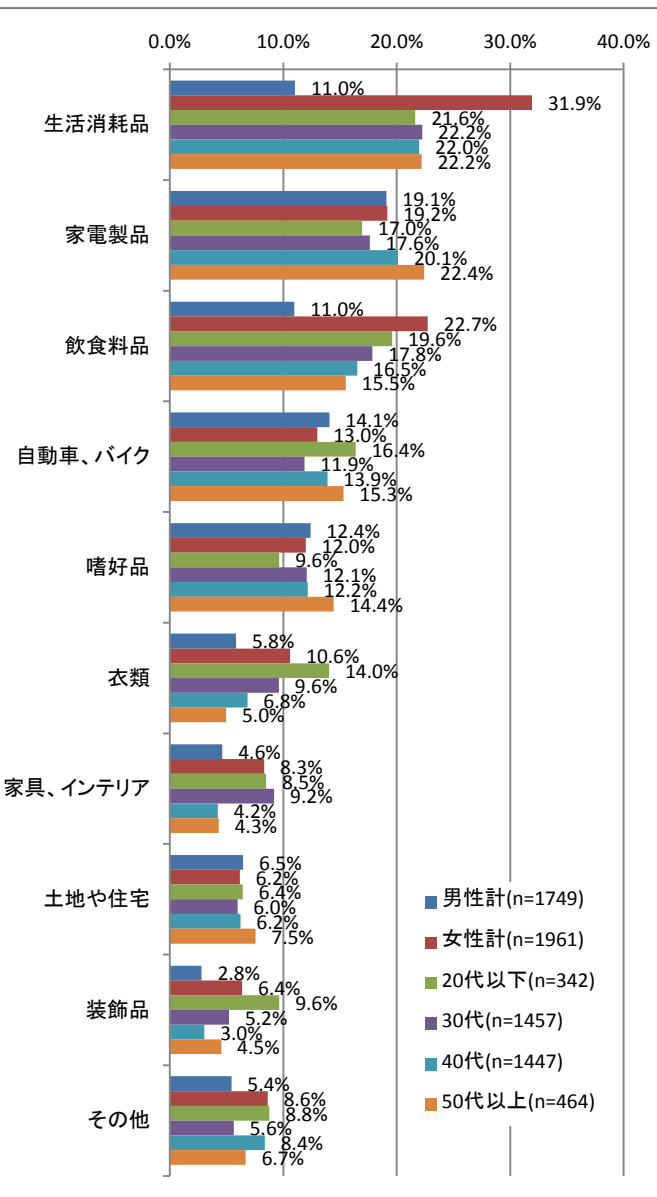


Q2. 購入・買い替えを検討している商品

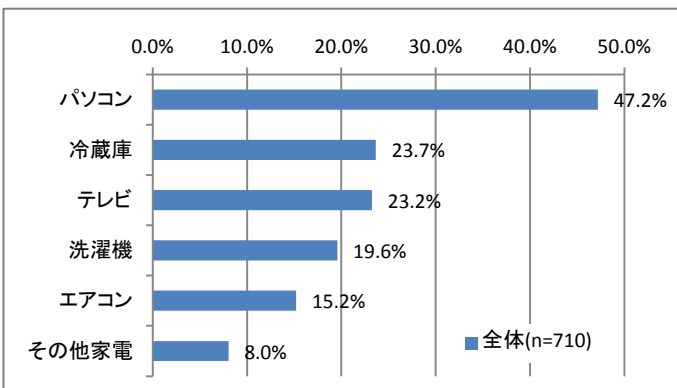
全体



性別、年代別



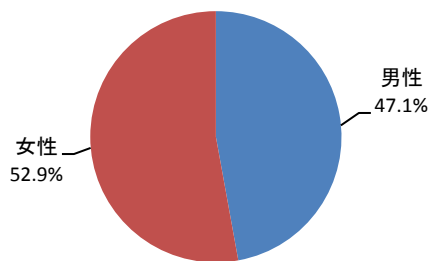
Q2-1. 購入・買い替えを検討している家電製品



回答者属性

性別

全体(n=3710)



年代別

■ 20代以下 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代以上

